

活動概要

URと共同し、武庫川団地の3DK64㎡の住戸を、学生のアイデアに基づき、学生自身がシェアハウスに施工、改修。併せて、学生が自主改修に伴う自らの住まいや居住地に対する愛着の度合いの増加、更には地域活動への参加意欲の高揚等に関するアンケート調査を実施した。

活動内容

活動・研究・委託テーマ	DIYによる住戸改修
対象となる地域・企業等	UR武庫川団地
活動学生(ゼミ・学年等)	平成27年度大坪ゼミの学生を中心とした生活環境学科の学生
連携時期	平成27年度5月～11月
学外への広報方法	URのPR紙、学生のツイッター
連携内容	URの武庫川団地の3DK64平米の住戸を、学生のシェアハウスに改修。 URから材料費（約70万円）の提供を受け、学生のアイデアに基づき学生が施工。 更にDIYによる改修に伴う居住者の意識の変化を、アンケート調査により確認。
成果	参加学生は、実社会と繋がり、様々な制約の中でアイデアを出し、それを実現したことにより、現実の仕事を理解し、また、社会に出る自信も身につけた。 アンケート調査結果に関しては、DIYによる自主改修によって住戸・居住地域への愛着が増し、地域活動への参加意欲も増進することが分かった。

研究者・研究グループからの「ひとこと」

実践的な活動であり、また複数の学生が協力し合い、更には外部組織と調整を行いながら物事を仕上げていく必要があるため、座学とは異なる学びの内容が非常に多い。それはまた、完成した時には達成感も大きく、得るものも多い。就職活動に際しては、学生たちは当活動で経験したことを、「学生時代に頑張ったこと」として披露することができたので、その点からも有意義である。

活動内容PR(活動の様子・参加者の声等)

- ・外部の様々な方々の応援を頂きながらも、様々な方々から「女子大生がここまでできるとは思わなかった」という様に、その実践力を評価していただいた。
- ・学生たちも、実際に工具を持って施工をするのは初めてのことで、当初は大きな戸惑いを伴いながら実施したが、徐々に手馴れていった。

